

資料正誤表

資料番号	訂正箇所	正	誤
資料1-1	2頁 No.12「見直し内容」欄2行目 「※」の削除	(略) 市営入浴施設のあり方も含めて、見直しに向けた検討を進める。	(略) 市営入浴施設 <u>(※)</u> のあり方も含めて、見直しに向けた検討を進める。
資料2	2頁 1(4)1行目 文言削除	公の施設の使用料については、消費税の課税対象であり(特例により納付税額は生じない)、(略)	公の施設の使用料については、消費税の課税対象であり(特例により納付税額は生じない) <u>であり</u> 、(略)
資料3 別表	3頁 施策事業番号026「内部評価に関する意見等」欄 内容修正	<u>有効性の「指標」として「駐車スペース確保のための放置自転車撤去台数」とあるが、目標台数に対して実績台数が上回った場合は「達成」となるのだろうか。撤去台数を減少させて初めて「達成」なのではないか。その点の考え方について教えてほしい。</u>	<u>「有効性」の指標として「市内における交通事故死者」とあるが、事業自体の目的に対して「指標」の設定が不適切である。</u>
	3頁 施策事業番号026「所管課の回答」欄 内容修正	<u>駐輪場内の放置自転車を少なくするという目的に関しては、清須市自転車等駐車対策協議会で調査を行っており、自転車等駐車場の有料化を含めた整備が有効との方針が出され、整備に向けて検討・審議を行っているところである。本事業は自転車等駐車場整備事業とは切り離し、現インフラにおいていかに放置の取り締まり、環境・安全を保持するかという点を目的としている。</u>	<u>市民が交通事故に遭わぬよう物的活動を積極的に行うことで、交通事故死ゼロにすることが最大目標であるので、今後もこの指標で継続していく。</u>

資料番号	訂正箇所	正	誤
資料3 別表	1 1 頁 施策事業番号 068「内部評価に関する意見等」欄 文言修正	「今後の方向性」について、「事業規模等」の欄は、「拡大・拡充」ではなく「 <u>統合・縮小</u> 」と評価すべきではないか。	「今後の方向性」について、「事業規模等」の欄は、「拡大・拡充」ではなく「 <u>統合・廃止</u> 」と評価すべきではないか。
	1 1 頁 施策事業番号 069「内部評価に関する意見等」欄 文言修正		
	1 4 頁 施策事業番号 004「内部評価に関する意見等」欄 文言修正	この事業の評価を正しく理解するためには、備考欄に平成 25 年度評価シートに記載されていた注記「公共下水道の <u>供用</u> 開始に併せて（略）」	この事業の評価を正しく理解するためには、備考欄に平成 25 年度評価シートに記載されていた注記「公共下水道の <u>使用</u> 開始に併せて（略）」